



Building Research Institute

建築研究所の

研究開発戦略

独立行政法人 建築研究所

理事長 山内 泰之



科学技術の「社会との契約」(1)

「科学が知識の拡大を追い求めた時代から、人間や社会が抱える問題の解決に科学を利用する時代が変わった」

・・・世界科学会議の宣言文要旨

(1999年6月ユネスコと国際科学会議の主催でハンガリーのブダペストで開催)

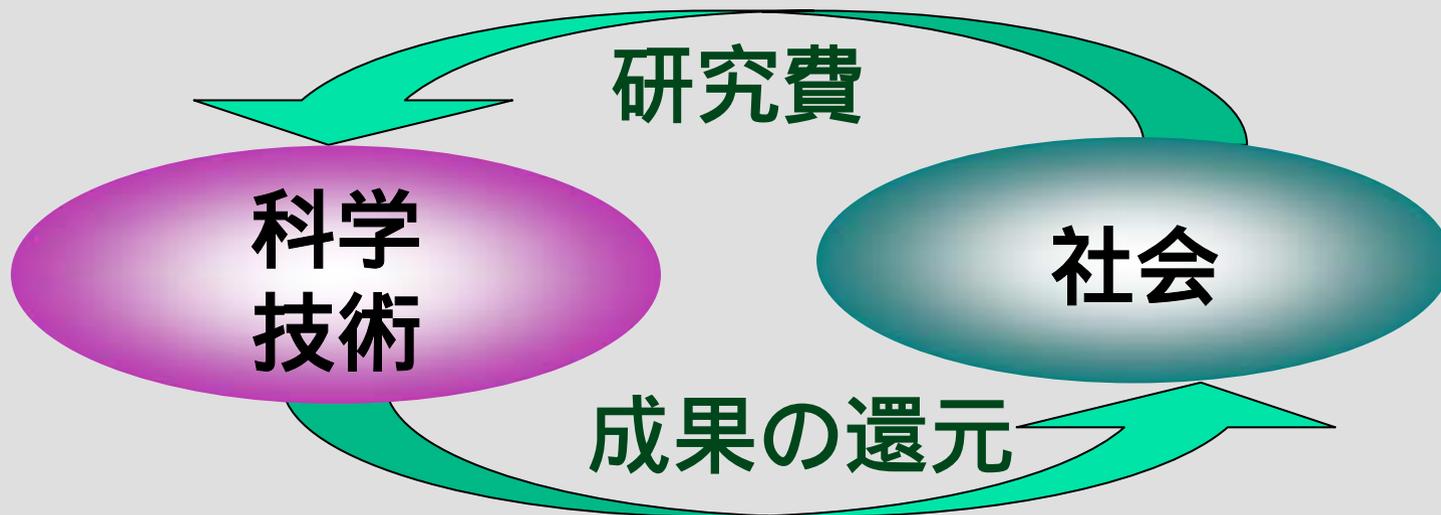


科学技術の「社会との契約」(2)

「科学と社会は契約した」

(国際科学会議のルブチェンコ会長)

- ・・・科学は社会から研究費を出してもらって引換えに研究の成果を「製品」として社会に還元するという契約





ミッションに沿った明確な研究開発

独法建築研究所の 社会との契約

- ・ ・ ・ ミッションに沿った明確な課題を設定し、研究開発を実施、その結果を社会に役立つように還元すること

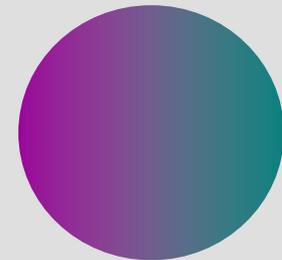
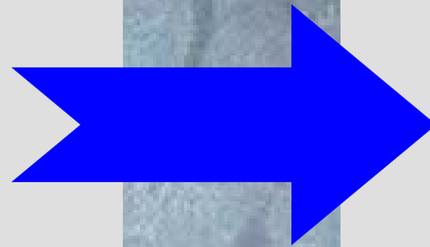


研究課題の設定 - 個人と組織

- (1) 「組織」のミッションに沿う研究課題の設定
- (2) 研究者「個人」の興味に基づく研究課題の設定



(1)と(2)の対立と相克から



(1)と(2)の均衡と共存へ



未熟期研究と成熟期研究

社会還元から見た分類

未熟期研究：新しい知見を得る研究

成熟期研究：知見を製品化する研究

未熟期研究

成熟期研究

社会への還元



中期計画と研究開発戦略のスケルトン(1)

建築研究所のミッション

“ より良い住宅、建築、都市を
科学技術により実現するための研究開発を
公平・中立・公共の立場から実施し、
その成果を国民・社会に還元し、
国民生活の真の豊かさと社会経済の
活性化に寄与する。 ”



中期計画と研究開発戦略のスケルトン(2)

研究開発戦略のスケルトン

建築研究所のミッション

ミッション実現の
ための視点

安全性向上
の視点

環境の保全・
創造の視点

生活環境の質
の向上の視点

落とし込み

研究グループ

目標

目標

目標設定

課題

課題

研究・開発
課題設定

研究
計画

研究
計画

研究計画
作成



中期計画と研究開発戦略のスケルトン(3)

ミッション実現のための中期計画における研究テーマ

「安全性の向上」の視点から

- ・ 室内空気汚染の防止・抑制技術
- ・ 構造安全性の信頼性向上技術
- ・ 先導的構造システムの要素技術
- ・ 防火性能評価技術

＝具体の研究例＝

すでに提案された延焼シミュレーションモデルに、火災旋風発生モデルや実施された樹木や塀の遮炎モデルを取り入れる、より精度を高めた「市街地火災延焼シミュレーションモデルの構築」を平成16年度より実施



中期計画と研究開発戦略のスケルトン(4)

ミッション実現のための中期計画における研究テーマ

「良好な地球環境・地域環境の保全・創造」の視点から

- ・ 木造建築等に係る廃棄物抑制・再資源化技術
- ・ 環境負荷の低い木質工法の汎用性を高める技術
- ・ エネルギー使用の削減可能な住宅環境技術

=具体の研究例=

ライフサイクルを通じて建築ストック全体の環境影響の最小化に視するため、「CO₂排出抑制に寄与する新しいエネルギーシステム」とそれらの住宅・建築への最適化技術開発を平成16年度より実施



中期計画と研究開発戦略のスケルトン(5)

ミッション実現のための中期計画における研究テーマ

「国民の生活環境の質の向上」の視点から

- ・ 都市型集合住宅の設計・改修等技術
- ・ 地域のまちづくりを支援する情報技術
- ・ ユニバーサルデザイン普及のための技術
- ・ 住宅・建築の品質向上のための評価技術

＝具体の研究例＝

建築設計過程における顧客のニーズや満足情報の的確な抽出、優先順位の把握により意思決定を支援するための「ニーズ・CS把握活用技術」の開発を実施中



「水平飛行」から「更なる飛翔へ」

- (1) 「新たな公」を目指した研究開発
- (2) 社会と連携した、世の中を動かせる研究開発
- (3) リーダーシップある研究開発
- (4) 若手を育て活かせる研究開発
- (5) 長期的な、情報蓄積型の研究開発



・・・より優れた下部構造を目指す

||

人材、資金および研究環境



Building Research Institute

建築研究所の

研究開発戦略

ご清聴ありがとうございました。